



シルバーだより

No. 423

令和 8 年 9 月 1 日
荒川シルバー大学
荒川区荒川 3-49-1
理事長 箭内忠義
TEL 3801-5740
FAX 3801-5691

平和への祈り —15 周年の節目に寄せて—

歌声クラブ 講師 本田 晴子

歌声クラブは本年 2026 年で 15 周年を迎えた。

「くちびるに歌を、心に太陽を」のスローガンのもと、講座ではストレス解消とばかりに酸欠寸前になりながら声を張り上げて歌っている。ラジオ世代、テレビ世代、インターネット世代と幅広い年代層が集うため、毎回の選曲には苦心するが、知らない曲であっても前向きに楽しんで歌っている。

思い返せば、今日までの道のりは決して平坦ではなかった。特に猛威を振るったコロナ禍では、声を出すこと自体がためられ、マスクをし、距離を置いて歌うことに戸惑いがあった。さらには、自身の突然の病と母の死——。どのような状況下でもこうして歌声を紡いでこられたのは、ひとえに、受講生の熱意と陰でクラブを温かく支え続けてくださった皆様のおかげである。心より深く感謝申し上げたい。

現在、来年の学芸発表会に向けて「歓喜の歌」に挑戦している。選曲した理由は、この曲が持つ圧倒的なエネルギーと世界観を通して、音楽がもたらす「生きる歓び」を共有したい思いがあった。奇しくも来年 2027 年は、ベートーヴェンの没後 200 年。何とも不思議なめぐり合わせである。聴力を失う絶望の中、20 代で出会ったシラーの詩に魅せられ、30 年の時を経て 53 歳でこの曲を作り上げたベートーヴェン。この初演からわずか 3 年後、56 歳で没するまで音楽に全てを捧げた。

日本における「歓喜の歌」の始まりは 1918 年 6 月、第一次世界大戦下の徳島県板野郡板東町（現在の鳴門市）坂東俘虜（ふりょ）収容所にさかのぼる。松江所長が敵国捕虜を罪人ではなく「誇り高き戦士」として敬う中、

ドイツ兵と地元住民は国境や立場を超えて心を通わせた。そして「人類はみな兄弟となり、共に喜び合おう」という平和への強い祈りを込め、日本初の演奏が行われたのである。

「歌は勇気であり、希望である」

こうして皆で元気に集い、かけがえのない日常を大切にしながら、これからも受講生の皆様とご一緒に、歌の旅を続けていきたい。





篠のひびき～大野利可 篠笛演奏会～

令和8年6月22日（月）「音色に魅せられて」

サンパール小ホールが満席の中、どこからともなく笛の音が……。振り返ると着物姿で笛を吹きながら登場されました。

第1部は、「出逢い」「とんび～浜千鳥」「京の夜」「青葉の笛」「雪～月の舞」の演奏があり、途中で三種類の笛の紹介がありました。横笛には、「篠笛」のほか、能で使う「能管（のうかん）」・雅楽で使う「龍笛（りゅうてき）」（神前式や和婚で使われるとのこと。）という、あまり聞き慣れない名詞でしたが、その笛での音色は、「あ！聞いた事がある。」という曲でした。

そして第2部では、「島原地方の子守唄」「たなばたさま」に始まり、音楽教室の飯島先生のお琴とのアンサンブルでした。「笛の音」「さくら」は、それはそれは圧巻でした。「アンコール！」のかけ声に季節感あふれる「ほたる」の曲が響き渡り、名残惜しい気持ちになりました。ほんのひととき、平安や室町時代にタイムスリップしたかのような時間がもてて、本当に心が豊かになりました。



また現在は日本のみならず、海外でもご活躍で、「先日は、トルコで琴とセッションしました。色々な楽器（びわ、琴、バイオリン等）と共演し、お互いの音を聞きながら難しくても楽しいです！」とお話されていたのが印象的でした。

最後に、日々の生活では到底出会えなかった、このような機会を与えていただき心より感謝致します。

フラダンス教室副代表 齋藤和子



篠の音～大野利可・横笛演奏会～



今年度、第2回合同講義として大野利可さんの演奏会が6月22日(月)、開催されました。大野さんの来校は今回で2回目です。第1回は令和3年9月30日、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言下での開催でしたが、あれから5年が過ぎ、平穏な日常のありがたさを改めて感じました。

第1部では「出逢い」「とんび～浜千鳥」などが演奏され、澄み切った笛の音色が会場を包みました。第2部では、音楽教室講師の飯島先生のお琴が参加し、「篠の音」と「さくら」を共演。笛と琴が織りなす美しい響きは格別で、会場を魅了しました。さらにアンコールでは「ほたる」が披露され、心温まる演奏会となりました。会場は大きな拍手に包まれ、音楽の素晴らしさを改めて実感するひとときとなりました。

施設部 高橋武三

当日は多くの学生さんが見えにきました。



Topics

広報部

広報部は、シルバー大学の広報全般を担っています。役員会要旨、シルバー大学ホームページ作成のほか、月に一度の会議を行い、シルバーだよりの内容、周年冊子、追悼文集などに関して話し合いをしています。顔を合わせる会議は、基本



部員の皆さん。左から、中畑、久保、望月、加藤学長、大島

本月一回ですが、その前後にメールやラインを駆使しております。毎月の、シルバーだよりは、講師の先生方には巻頭言を、教室の皆様には記事をお願いしております。ご協力本当にありがとうございます。季節を問わない投稿はいつでも大歓迎です。皆様どうぞよろしく、お願い致します。

これから、上記のように各部をご紹介します。よろしくお願いします。

9月の行事について

期 日	行 事	講師プロフィール
30日 (水)	<u>令和8年度 第三回合同講義</u> 「エンディングノートについて」 ～もしもの時のために準備しませんか～ 令和7年10月荒川区オリジナルのあらかわエンディングノートが完成いたしました。今回の講座では、そもそもエンディングノートとは何か？といった内容から、事例を用いながらエンディングノートの具体的な活用方法をご紹介します。ぜひご参加ください。	荒川区社会福祉協議会 成年後見・権利擁護センターあんしんサポートあらかわセンター長 圓山 圭二(マルヤマケイジ) 立教大学 21 世紀社会デザイン研究科比較組織ネットワーク学専攻・博士前期課程修了。NHK 学園高等学校専攻科社会福祉コースを経て、平成 22 年荒川区社会福祉協議会入職。平成 30 年 4 月より現職。



学 園 日 誌 (7・8月)



7月3日 運営委員会

8日 常任理事会・役員会

15日 広報委員会

29日 企画・施設部会議

8月3日 9年度日程作成(陶芸教室・清掃日)

21日 広報委員会

28日 シルバーだより 423号作成

※事務局だより※



各地で大雨による災害が発生し、熊本や千葉などでは、自然の猛威によって多くの方々が被害をうけられました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

9月1日は「防災の日」です。災害は、いつ、どこで起こるかわかりません。「自分のところは大丈夫」と思わず日頃から災害への備えをしておくことが大切です。皆様が健やかに秋を迎えられますことを、心より願っております。

◎令和8年度 学園祭について

期日：11月27日～29日(金土日)の3日間

会場：町屋文化センター内

(多目的ホール・第一・第二・第三会議室・ふれあい広場・プレイコーナー等)

※9月以降、各教室は展示作品や発表の準備等、よろしくお願い致します。



(事務局) TEL3801-5740 FAX3801-5691

(ホームページ) <http://www.arakawa-silver.com/>

事務局長 田原